

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成21年2月12日(2009.2.12)

【公表番号】特表2008-524331(P2008-524331A)

【公表日】平成20年7月10日(2008.7.10)

【年通号数】公開・登録公報2008-027

【出願番号】特願2007-548348(P2007-548348)

【国際特許分類】

C 0 7 D 471/04	(2006.01)
C 0 7 D 487/04	(2006.01)
A 6 1 K 31/519	(2006.01)
A 6 1 K 31/53	(2006.01)
A 6 1 K 31/4985	(2006.01)
A 6 1 K 9/20	(2006.01)
A 6 1 P 43/00	(2006.01)
A 6 1 P 3/10	(2006.01)
A 6 1 P 35/00	(2006.01)
A 6 1 P 37/06	(2006.01)
A 6 1 P 17/06	(2006.01)
A 6 1 P 25/28	(2006.01)
A 6 1 P 19/02	(2006.01)
A 6 1 P 29/00	(2006.01)
A 6 1 P 7/00	(2006.01)
A 6 1 P 7/06	(2006.01)
A 6 1 P 13/12	(2006.01)
A 6 1 P 19/08	(2006.01)
A 6 1 P 31/18	(2006.01)
A 6 1 K 9/08	(2006.01)
A 6 1 K 9/127	(2006.01)
C 0 7 D 498/04	(2006.01)
C 0 7 D 513/04	(2006.01)
A 6 1 K 31/5383	(2006.01)
A 6 1 K 31/542	(2006.01)

【F I】

C 0 7 D 471/04	1 1 1
C 0 7 D 487/04	1 4 2
C 0 7 D 487/04	C S P
C 0 7 D 487/04	1 4 8
C 0 7 D 487/04	1 4 0
A 6 1 K 31/519	
A 6 1 K 31/53	
C 0 7 D 471/04	1 1 7
C 0 7 D 487/04	1 4 7
C 0 7 D 487/04	1 4 1
A 6 1 K 31/4985	
C 0 7 D 487/04	1 4 4
A 6 1 K 9/20	
A 6 1 P 43/00	1 1 1
A 6 1 P 3/10	

A 6 1 P 35/00
A 6 1 P 37/06
A 6 1 P 17/06
A 6 1 P 25/28
A 6 1 P 19/02
A 6 1 P 29/00 1 0 1
A 6 1 P 7/00
A 6 1 P 7/06
A 6 1 P 13/12
A 6 1 P 19/08
A 6 1 P 31/18
A 6 1 K 9/08
A 6 1 K 9/127
C 0 7 D 498/04 1 1 2 T
C 0 7 D 513/04 3 8 1
A 6 1 K 31/5383
A 6 1 K 31/542

【手続補正書】

【提出日】平成20年12月11日(2008.12.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 5 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 5 7】

請求項 1 ~ 1 4 4 のいずれか 1 項に記載の化合物を含む、DPP - IV 阻害剤。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 5 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 5 8】

請求項 1 ~ 1 4 4 のいずれか 1 項に記載の化合物を含む、インビボでの DPP - IV 阻害剤。

【手続補正3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 5 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 5 9】

インビボで第 2 の化合物に変換される第 1 の化合物を含み、当該第 2 の化合物がインビボで DPP - IV を阻害し、当該第 2 の化合物が請求項 1 ~ 1 4 4 のいずれか 1 項に記載の化合物である、DPP - IV 阻害剤。

【手続補正4】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 6 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 6 0】

請求項 1 ~ 1 4 4 のいずれか 1 項に記載の化合物を含む、治療剤。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 6 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 6 1】

治療有効量の請求項 1 ~ 1 4 4 のいずれか 1 項に記載の化合物を含む、疾患状態の病理学及び / 又は徵候学に寄与する活性を D P P - I V が有するような疾患状態の治療剤。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 6 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 6 2】

治療有効量の請求項 1 ~ 1 4 4 のいずれか 1 項に記載の化合物を含む、糖尿病の治療を必要とする患者の糖尿病の治療剤。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 6 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 6 3】

治療される糖尿病が I 型又は I I 型糖尿病である、請求項 1 6 2 に記載の剤。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 6 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 6 4】

治療有効量の請求項 1 ~ 1 4 4 のいずれか 1 項に記載の化合物を含む、癌の治療を必要とする患者の癌の治療剤。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 6 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 6 5】

治療される癌が、結腸直腸癌、前立腺癌、乳癌、甲状腺癌、皮膚癌、肺癌、又は頭頸部癌である、請求項 1 6 4 に記載の剤。

【手続補正 1 0】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 6 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 6 6】

治療有効量の請求項 1 ~ 1 4 4 のいずれか 1 項に記載の化合物を含む、自己免疫疾患の治療を必要とする患者の自己免疫疾患の治療剤。

【手続補正 1 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 6 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 6 7】

治療される自己免疫疾患が、関節リウマチ、乾癬、及び多発性硬化症からなる群から選択される、請求項 1 6 6 に記載の剤。

【手続補正 1 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 6 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 6 8】

治療有効量の請求項 1 ~ 1 4 4 のいずれか 1 項に記載の化合物を含む、リンパ球不足又は造血細胞の活性化若しくは濃縮によって特徴付けられる状態の治療を必要とする患者における当該状態の治療剤。

【手続補正 1 3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 6 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 6 9】

前記治療される状態が、化学療法又は放射線療法の副作用である、請求項 1 6 8 に記載の剤。

【手続補正 1 4】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 7 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 7 0】

前記治療される状態が腎不全の結果である、請求項 1 6 8 に記載の剤。

【手続補正 1 5】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 7 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 7 1】

前記治療される状態が骨髄疾患の結果である、請求項 1 6 8 に記載の剤。

【手続補正 1 6】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 7 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 7 2】

治療有効量の請求項 1 ~ 1 4 4 のいずれか 1 項に記載の化合物を含む、H I V 感染の治療を必要とする患者の H I V 感染の治療剤。

【手続補正 1 7】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 7 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 7 3】

治療有効量の請求項 1 ~ 1 4 4 のいずれか 1 項に記載の化合物を含む、免疫不全症状によって特徴付けられる状態の治療を必要とする患者における当該状態の治療剤。